

令和２年度第４回経営協議会 議事要旨

日 時 令和３年１月２５日（月）１４時３０分～１６時００分
場 所 事務棟第一会議室
出席者 （対面出席）穴沢学長，江頭理事，鈴木理事，近藤副学長，片桐委員，
（オンライン出席）栗田委員，佐藤委員，福田委員，舟本委員
欠席者 上林委員，杉江委員
陪席者 （対面出席）伊藤監事，近藤監事，小嶋事務局長
（オンライン出席）福井理事

議事に先立ち，前回（１１月１８日）開催の令和２年度第３回経営協議会の議事要旨の確認が行われた。

続いて，穴沢学長から，議事進行の都合上，議題１「令和３年度小樽商科大学予算編成方針（案）について」の前に，報告事項１「令和３年度運営費交付金等内示額について」の報告を行う旨発言があった。

報 告 事 項

１．令和３年度運営費交付金等内示額について

穴沢学長から，報告資料１に基づき，令和３年度運営費交付金等内示額について報告があった。

議 題

１．令和３年度小樽商科大学予算編成方針（案）について

穴沢学長から，審議資料１に基づき，令和３年度小樽商科大学予算編成方針（案）について諮られ，原案どおり承認された。

なお，機能強化経費「機能強化促進分」等について伝達があった際には，内容に変更が生じる可能性があるが，その場合には，学長に一任することが併せて承認された。

承認後，穴沢学長から，同日開催の役員会に附議する旨発言があった。

２．国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等について

穴沢学長から，審議資料２に基づき，国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等について諮られ，原案どおり承認された。

承認後，穴沢学長から，報告書についての意見等は２月８日まで受け付けている旨発言

があり、続いて、取りまとめた意見の報告書への反映については、学長に一任願いたい旨発言があった。

また、経営協議会委員及び監事の意見を取りまとめて報告書の最終版を作成した後、2月24日開催の役員会に附議する旨発言があった。

討 議 事 項

1. 三大学経営統合の現況について

穴沢学長から、討議資料1に基づき、三大学経営統合の現況について説明のうえ、討議・意見交換が行われた。

(主な意見等)

- 教育融合推進センター（仮称）やオープンイノベーションセンター等は、新法人に設置することになるのか、役割分担を考えて3大学のいずれかに置くことになるのか、この点についてどのような議論となっているのか教えていただきたい。また、これらは最終報告に盛り込まれるのか。
- 教育融合推進センター等については、3大学で協議を進めているが、各大学で役割分担をしていくことも考えている。法人本部に置く形になるのか3大学のいずれかに置くのかは検討中であり結論が出ていない。また、最終報告に盛り込む形になると思うが、検討中の事項が多く、現時点ではっきり申し上げられない。
- 4つの取組それぞれの領域の活動の説明ももちろん必要であるが、それと同時に、3大学が一緒にやるべき連携教育プログラムのようなレベルのものと、副専攻型のプログラムのように大学ごとにやるもので、サブジェクトごとに階層の違いがあると思うが、その関連性が見やすくなると良い。
- おそらく多くの教職員の関心は、法人本部と大学の関係において、これまでの文化や制度のうち残るもの、失われるものにあると思うが、こういったタイミングで全教職員にディスクローズされるのか、教職員の意見が経営改革推進会議に届くのか届かないのか、同会議の中だけですべて完結していくのか、どの程度オープンにしていくのか、このあたりについて教えていただきたい。
- 非常に重要な点であり、非常に対応が難しいところである。各大学で意思決定の方法が異なっており、各大学でどのように情報を公開していくのか少しずつ違いが出てくるところである。本学はこれまでも教授会に説明して合意を得てきたが、これからもそのようにやっていきたいと考えている。本日ご報告した内容も、先日の教授会で報告した内容である。また職員に対しても、近日中に人事異動等に関する説明会を開催予定である。できる限り情報は出していきたい。一方、3大学で合意して進めていくことも出てくるので議論を重ねているところである。
- 私も民間で統合の作業の経験を相当積み、たくさんの苦労をした。こういった検討過程の中で全員が参加することは混乱を生むだけで、そういうやり方は考えられない。今の進

め方でも良いが、蓋を開けて3大学の多くの教職員が混乱するようであれば、それは極めて良くない結果になるので、よく考えて進めていただきたい。

○ 3大学経営統合の趣旨は、限られた資源を効率的に使って、経営コスト削減方策を実施していくことが大きな目的だったと思う。各WGの方々が努力していることは充分承知しているが、新しいプロジェクト、企画が立ち上がり、仕事量が増えていてコストがかかるような気がする。本来の統合の趣旨・目的と今向かっている方向性が合致しているのかどうかご説明願いたい。

→ 大学ごとに考え方が違っているかもしれないが、個人的にはできるだけ本部は小さくしたい。リモートワークも一般化してきているので人の移動も最小限で業務遂行していくことにしたい。一方、本部のあり方について他の大学は違う考え方を持っているところもあるので、そのあたりはこれから調整していくところである。いかに効率的にやっていくか、資源を有効に使っていくかという観点から議論を進めていきたいと思っている。最終的には本部を大きくすることは避けるべきものであると考えている。

→ 元々の経営統合の目的というのは、コストカットだけでなく、コストカットして浮いた人材、マンパワー等を3大学で考える新たな教育、研究、社会貢献にリソースを投入しようというものである。新しい企画が次々と立ち上がっているわけではなく、初めからこのメニューで議論しており、一部はコストカットをするための手段の開発であり、他方では、3大学が経営統合することならではの教育研究等の企画とそのプラットフォームづくりの企画になっている。

報 告 事 項

2. 令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果について

穴沢学長から、報告資料2に基づき、令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

3. 最近のトピックスについて

穴沢学長から、報告資料3に基づき、最近のトピックスについて報告があった。

その他

穴沢学長から、次回の経営協議会については、令和3年3月15日（月）14時30分から開催する予定である旨、発言があった。なお、緊急の案件が生じた場合には、急遽、会議を招集させていただくことも想定されるので、その場合には、会議の開催日程を調整させていただきたい旨、併せて発言があった。

以 上